

今回紹介する団体：城島町土地改良区

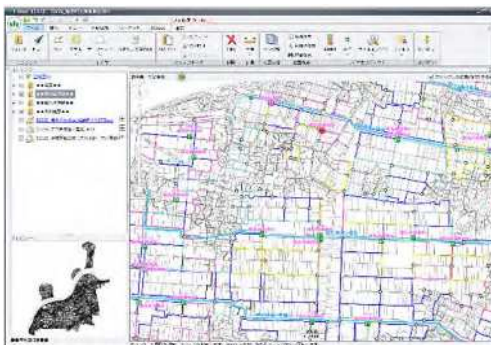
取組概要

内容： 城島町土地改良区が管理する農業用水利施設（揚水機場、パイプライン、給水栓、水管橋、分水工）及び受益情報のほか、多面的機能支払交付金に係る活動範囲、施設の補修履歴情報を水土里情報システムに登録し、農地、農業用水利施設の一元管理を行った。

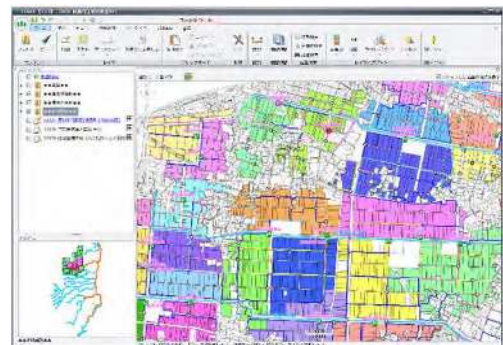
経緯： ①施設情報の可視化

福岡県南部地域の地形は平坦であるため、水田への水の供給は揚水機場からパイプラインを通じて行われている。当改良区は複数のほ場整備地区（727ha）の農業水利施設を管理しているため、資料が膨大である。

また、紙ベースで図面を管理しており、地元からの問い合わせ対応や施設位置及び規格等の確認に時間と労力がかかり苦慮していた。受益地においても、賦課台帳と地番図を照合して確認を行っていたため、これら農業用水利施設及び受益情報を可視化し、水土里情報システムで管理ができるよう情報整備を行った。



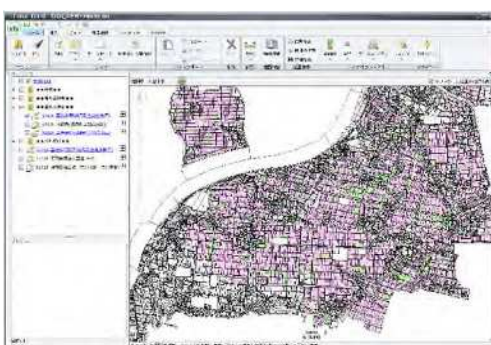
農業用水利施設（パイプライン）



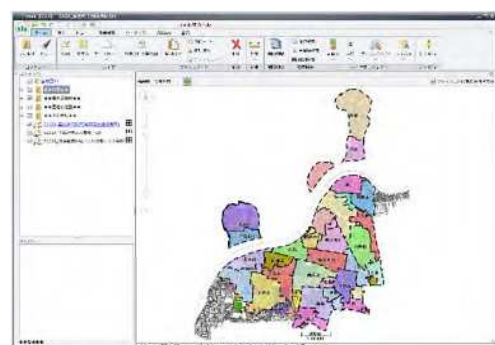
揚水機場別受益地

②補修履歴の情報整備

当改良区では約800ha（36集落）と広範囲におよぶ多面的機能支払交付金に係る広域活動組織の事務も受託しており、農地一筆管理（除外・分筆等）のほか、農業用水利施設の長寿命化に係る施設の補修履歴情報も水土里情報システムで管理できるよう情報整備を行った。



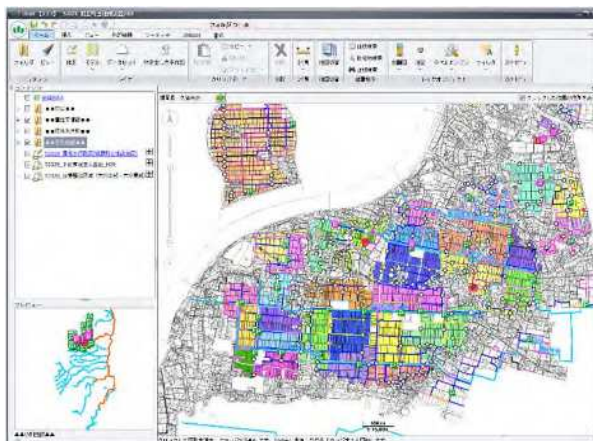
一筆管理（多面的機能支払交付金）



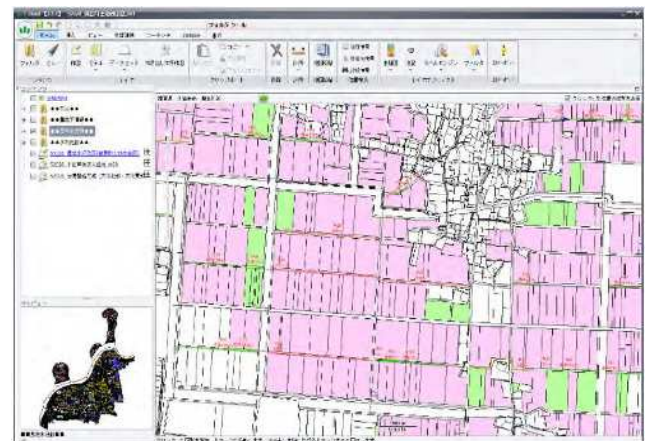
行政区割図（多面的機能支払交付金）

取組による効果

- ① 揚水機場(43ヶ所)、パイプライン及び受益地に関連する属性情報を登録することで水管理が効率よく実施でき、揚水機場及びパイプラインが破損した場合の影響度等の把握、対応措置が容易となる。
- ② ほ場整備地区及び施設別の更新情報を蓄積することで、経年劣化状況を把握することが容易となる。
- ③ 多面的機能支払交付金に係る広域化活動組織の一筆管理、長寿命化に係る施設の更新・補修履歴の管理が容易となった。
- ④ 土地改良区が管理している施設情報を職員全員が把握することが可能となったため、地元からの問い合わせ窓口対応のほか、諸事務調書へ添付する図面の作成等が容易となり、事務の省力化が図られる。



農業用水利施設管理及び機場別受益図



多面的機能支払交付金 施設更新・補修履歴情報

今後の活用予定

今後は、農業用水利施設の関連情報の電子化(PDF)を検討するほか、引き続き多面的機能支払交付金に係る施設の更新・補修履歴情報等を水土里情報システムに格納し、情報の蓄積を行っていく予定である。

GISシステムのバージョン情報

GISエンジン : GeoConic 6.0 GISアプリ : GC Planets6.0

■お問い合わせ先

福岡県土地改良事業団体連合会 総務部情報管理課 (電話番号)092-642-1893